



間違わない補聴器の選び方・着け方(4)

博士補聴器 代表 由井宏知

補聴器には慣れが必要

「せっかく補聴器を買ったのに、思っていた程役に立たない。」

これは初めて補聴器をお使いになる方の多くが直面する問題です。補聴器を使えば聞こえの問題がすぐに解決されると思われがちですが、残念ながら多くの場合はそうではありません。なぜなら、補聴器の音に慣れるためにはある程度の時間が必要になるからです。

難聴の原因が病気や事故などによる急な聴力低下でない場合、聴力は徐々に下がっていきます。その変化はとてもゆっくりで、自身でもなかなか気が付かないうちに進行します。多くの人は「もしかしたら聞こ

ています。

ある耳鼻科専門医によると、補聴器使用開始後、毎日中装用したとして、適切な音量に慣れるまでには平均3か月程度かかるということです。この期間は人によって大きく差があり、中には着けたその日から十分な音を入れられる方もいれば、1年近くかけて少しずつ目標に近づける方もいらっしゃると思います。

また、言葉とそれ以外の音を切り分けること、言葉を聞き取って内容を理解することは耳だけでなく脳が中心に行う作業です。補聴器を通して聞こえてくる様々な音が何の音なのか、音源を探してその音を理解することで脳がその音に慣れ、「今は聞く必要がない音」を無視できるようにな

ってきます。また人が話す言葉の抑揚やリズムを再学習することで、聞き取り、聞き分けが向上すると考えられています。

補聴器に慣れ、その効果を最大限に得られるまで、無理のない範囲で使用し続けられるように私共が補聴器を調整します。聞こえる喜びとうるさいと感じる不快感とのバランスを取りながら少しずつ慣れていくために、どんな音が聞こえるようになったか、どんな音がうるさく感じたか、お感じになったことを何でも教えてください。調整と装用を繰り返すうちに、豊かな音の世界やご家族やご友人等とのコミュニケーションを楽しめるようになる筈です。

「間違わない補聴器の選び方・着け方」は隔月の連載です。

筆者・博士補聴器の連絡先などは、下記広告欄を参照ください